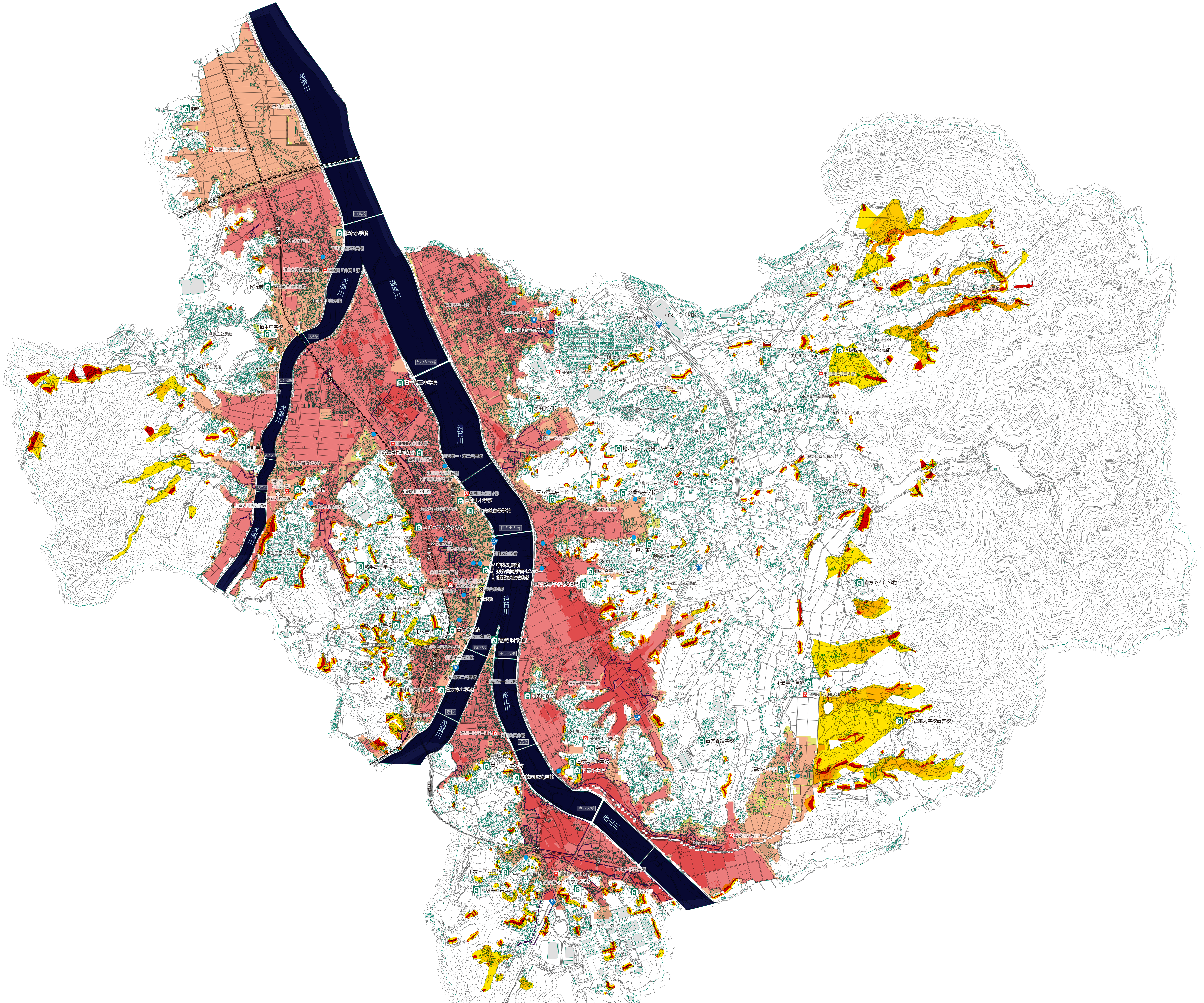


凡　例

○浸水想定区域
- 5.0m～の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

○避難所等
- 避難所
- 市役所
- 消防署 消防団格納庫
- 公民館等
- 警察署・交番 駐在所
- 洪水浸水想定区域内の要配慮者施設

○土砂災害防止法による指定範囲

急傾斜　土石流　特別警戒区域　警戒区域

警　戒　区　域…土砂災害のおそれがある区域。
特別警戒区域…建築物の損壊が生じ、住民に著しい危険が生じるおそれがある区域。
※土砂災害防止法による指定箇所は、平成29年2月現在の区域です。

○内水はん濫想定区域

浸水想定区域について

(1) この図は、国土交通省が水防法の規定に基づいて公表した、国が管理する遠賀川等の河川が氾濫した場合の「洪水浸水想定区域」と「想定浸水深」を示した図面です。
(2) この洪水浸水想定区域図は、遠賀川等における河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により遠賀川等が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

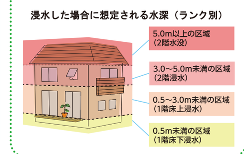
※指定の前提となる降雨
　日の出橋上流域の12時間総雨量592mm

直方市　総務・コミュニティ推進課
TEL 0949-25-2223

浸水等の目安

このハザードマップには、大雨で河川から水が溢れたときに想定される水深を色別に表示しています。水深の目安はおよそ次の通りです。
自分の家を探してどの程度浸水するかを確認し、しっかりと安全対策を練っておきましょう。
避難場所が浸水想定区域内にある場合でも、２階建て以上の堅牢な建物であれば避難場所として利用できることもありますので、日頃から確認しておきましょう。

浸水した場合に想定される水深（ランク別）



緊急度	避難情報区分	発令の状況	住民の皆さんに求める行動
低	避難準備・高齢者等避難開始	人的被害の発生する可能性が高まった状況	●対象地域の一人では避難できない要配慮者（高齢者や体の不自由な方）は、支援者と一緒に指示された避難所へ避難を始めてください。 ●上記以外の方は、家族等との連絡、非常用持ち出し品の用意等避難の準備を始め、危険だと思ったら早めに避難を始めてください。
中	避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	●対象地域の方は近くの人に声をかけて、指示された避難所へ複数で避難を始めてください。外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。 ●対象地域以外の住民は、周囲の状況から判断して自主避難を始めてください。
高	避難指示（緊急）	人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状況	●緊急に避難してください。 ●外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。